

目標② 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。

第一中学校生徒会役員の田中さんは、「海水浴中の事故」を防ぐために、夏休みに入る前に、給食の時間の校内放送（音声のみ）を通じて、全校の生徒に呼びかけようと考えました。次は、田中さんがインターネットで調べた際に書いた【調べたことメモ】と、メモを基に書いた【放送原稿】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【調べたことメモ】

七月□□日にいろいろなホームページで調べたこと

- 海水浴中の事故原因の一つに「離岸流^{りがんりゆう}」がある。
- 離岸流とは、海岸に打ち寄せた海水が沖へ戻る強い流れのこと。
- 離岸流の幅は、十から三十メートル。流れの速さは、約秒速二メートルで、水泳選手でも流れに逆らって泳ぐのは難しい。
- もし、離岸流に流されてしまったら、まっすぐ岸に向かって泳いではいけない。体力を消耗し、危険。
- もし、離岸流に流されてしまったら、まず落ち着く、次に岸と平行に泳ぐ、そして離岸流から抜け出したら岸に向かう。泳ぎに自信が無い人は、浮くことに専念して助けを求めろ。

【放送原稿】

生徒会から、皆さんにお願いします。
 毎年、夏の時期になると、テレビなどで、海の事故についてのニュースをよく目にします。
 もちろん、海や川に行くときは、第一中学校の校則で、保護者と一緒に行くことになっています
 が、①、必ず安全であるとは言いきれません。海や川で遊ぶとき
 には、そこが自然の中だということを忘れてはいけません。

皆さんは「リガンリュウ」という言葉を聞いたことがありますか。
 「リガンリュウ」を漢字で書くと「岸から離れる流れ」となり、文字の通り、海岸から沖に向かう流れのことです。

波は海岸へ打ち寄せますが、その海水は沖に戻ろうとします。沖へと戻る海水の通路となる強い流れが離岸流です。離岸流の流れの速さは秒速二メートルにもなり、水泳選手② 逆らって泳ぐことはできません。

このことを知らずに、例えば、浮き輪などを使って海で遊んでいると、離岸流が原因で、あつと
いう間に沖に流されてしまうことがあります。

万が一、離岸流に流されてしまった時は、絶対に流れに逆らって泳いではいけません。かえって
体力を消耗してしまいます。

ホームページによると、離岸流に流されてしまったときは、

③

自然の海や川には、人間の力では、到底かなわない強い力があることを忘れてはいけません。
間もなく、夏休みが始まります。

楽しく、そして何より安全に過ごしてください。

以上、生徒会からのお願いでした。

(1) ①に入れる言葉として、最も適切なものを、次のアからエまでの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

ア 海や川に行くからと言って

イ たとえ海や川に行かなくても

ウ 保護者と一緒に行くからと言って

エ たとえ保護者と一緒に行かなくても

答え

(2) ②に入れる言葉として、不適切なものを、次のアからエまでの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

ア でも

イ であれば

ウ でさえも

エ ですら

答え

(1) 《解答》

ウ

(2) 《解答》

イ

(3) 《解答例》

まず落ち着く、次に岸と平行に泳ぐ、そして、離岸流から抜け出したら岸に向かって泳ぐことが大切だそうです。また、泳ぎに自信がない人は、浮くことに専念して周りに助けを求めることも大切と
のことです。

《評価のポイント》

○ 【調べたことメモ】を基にして、伝聞の表現(聞いたことや調べたことを伝える述べ方)で書いている。

× 無解答、または、不適切な内容であるか、九十字以上、百二十字以内で書いていない。